和歌山県看護協会

平成２８年度糖尿病重症化予防(フットケア)研修【16】　募集要項

1. 目的：糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価方法と実践の技術を身につける。
2. 目標： ①糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する。

　　　　　 ②糖尿病患者の足病変の病態生理・治療を理解する。

　　　　　 ③糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ。

　　　　　 ④糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ。

　　　　　 ⑤糖尿病患者の事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する。

　　　　　 ⑥予防的フットケアを実践するためのシステム構築について考えることができる。

1. 開催期日：平成28年10月22日 (土) ～ 23日 (日)　　9：00　～　18：10
2. 募集期間：平成28年8月 1日（月）～ 16日 (火)
3. 定員：30名
4. 会場：和歌山県看護協会　看護研修センター
5. 受講料：会員27,000円　　非会員60,000円
6. 受講資格：
7. ①糖尿病足病変看護に５年以上従事しているもの、もしくは、②５年以上の看護経験を有し、研修終了後専任で糖尿病足病変患者の看護に従事予定のもの
8. 受講生の所属施設が、糖尿病合併症管理料を算定するための要件のうち、本研修を受講する以外の要件が整っている施設であること\*
9. 所属長(院長や看護部長等)の推薦があり、２日間の研修全てに参加可能なもの
10. 望ましい条件：糖尿病療養指導士の有資格者
11. テキスト：《研修時持参》　できれば、研修までに読んできてください。

**『糖尿病看護フットケア技術　第3版』**日本糖尿病教育看護学会編集、日本看護協会出版会、2013.

1. 備考：
2. 本研修は、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会として認定申請中です。
3. 全プログラムを修了した参加者のみ修了証を発行致します。遅刻・早退・途中退席等は認められません。
4. 演習についての注意事項

《施設にあれば持参》ニッパー（直）・爪ゾンデ・ガラスやすり・モノフィラメント・

打腱器（先が丸）・音叉（C-128Hz）・レデューサー（フットファイル）

秒針付き時計またはストップウォッチ・タオル1枚

《その他》足の爪を伸ばしたままお越しください。(パンスト不可)

　　　　　マニキュアははずしてください。

　　　　　髪の長い人は束ねられるようにしてください。

\*〔糖尿病合併症管理料の算定要件〕：詳細は近畿厚生局等へお尋ねください。

　　　足潰瘍、足趾・下肢切断既往、閉塞性動脈硬化症、糖尿病神経障害等の糖尿病足病変ハイリスク要因を有し、医師が糖尿病足病変に関する指導の必要性があると認めた者に対し、専任の常勤医師又は専任の常勤看護師が、糖尿病足病変に関する療養上の指導を30分以上行った場合。指導の実施に当たっては、専任の常勤医師又は当該医師の指示を受けた専任の常勤看護師が、糖尿病足病変ハイリスク要因に関する評価を行い、その結果に基づいて、指導計画を作成すること。等

和歌山県看護協会

糖尿病重症化予防(フットケア)研修プログラム

1日目：10月22日(土)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 内　　容 | 講　　師 |
| 8：15～ | 受付開始 |  |
| 8：50～ 9：00 | オリエンテーション |  |
| 9：00～10：00 | 講義1：『糖尿病患者の療養を支えるフットケア』 | 小畑香寿美  済生会有田病院 |
| 10：00～10：10 | 休憩 |  |
| 10：10～12：10 | 講義2：『糖尿病患者の足病変～病態生理から治療まで～』 | 古田浩人  和歌山県立医科大学附属病院 |
| 12：10～13：00 | 休憩 |  |
| 13：00～14：30 | 講義3：『糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント①』 | 大川聖子  和歌山労災病院  （演習助手）  山本美子、金本純子、  小畑香寿美、山崎亨子 |
| 14：30～14：40 | 休憩 |
| 14：40～16：10 | 演習1：糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント |
| 16：10～17：40 | 演習2：事例分析と評価①  (グループディスカッション　まとめ) |
| 17：40～18：10 | 講義4：『糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント②』 | 金本純子 |

2日目：10月23日(日)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 内　　容 | 講　　師 |
| 8：30～ | 受付開始 |  |
| 9：00～10：30 | 講義5：  『フットケアの実際　～予防のためのセルフケア支援～』 | 山本美子　　　　　　　和歌山県立医科大学附属病院  （演習助手）  金本純子、大川聖子、  小畑香寿美、山崎亨子 |
| 10：30～11：00 | 演習3：フットケアの実際① |
| 11：00～12：30 | 演習4：フットケアの実際② |
| 12：30～13：20 | 休憩 |
| 13：20～16：20 | 演習5：事例分析と評価②  （グループディスカッション） | 大川聖子　　　　　　　和歌山労災病院  （演習助手）  山本美子、金本純子、  小畑香寿美、山崎亨子 |
| 16：20～16：30 | 休憩 |  |
| 16：30～17：10 | 演習6：まとめ（グループディスカッション）  今後の糖尿病重症化予防（フットケア）の活動に向けて | 藤原優子  大阪大学医学部附属病院 |
| 17：10～18：10 | 講義6：『糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と  今後の課題』 | 藤原優子  大阪大学医学部附属病院 |

※　演習は、6名程度の受講生に対して糖尿病看護認定看護師が1名つき支援する。

※　本研修は、診療報酬算定要件である糖尿病足病変の指導に係る適切な研修における、日本糖尿病教育・看護学会の標準プログラムです。